区政を聞く　一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（２月中旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所３階）、図書館などでご覧になれます。

自由民主党議員団

区長再選後４年間の区政運営にさらなる進展を期待

青木区政の第一期の成果と今後の区政運営

問 区長は、第一期の区政運営の成果を自らどのように評価しているのか。

答 区民第一・現場第一、行政のスピードアップ、おもてなしサービスの徹底を基本姿勢として区政運営に取り組んだことに対し区民から評価をいただいた。また、スピード感を持った、区民にわかりやすいサービスの提供や区民満足度の高いサービスの展開、関係者との連携・協働により区役所との距離が近づいたとの評価や今後の区政への期待の声をいただいている。

問 今後の区政運営についてどのように舵取りをしていくのか決意を伺う。

答 子育て支援、高齢社会への対応、安全・安心対策、地域の活性化を重要な課題と捉え、「夢と誇りあるふるさと葛飾」の実現に向けて全力で区政の舵取りをしていく決意である。

公共施設の更新とその財源対策

問 公共施設の更新にあたってどのような方針で臨むのか基本的な考え方を伺う。

答 施設の現在の利用状況に加え、将来求められるニーズや区が提供すべきサービスを見極め、より効率的に使用できるような検討を進めるとともに機能の複合化を図っていく。また、全施設に共通の方針を定め、各施設の状況を十分に調整し、地域ごとに具体的な更新計画を示していく。

※他の質問項目　施設更新の財源対策

認定こども園

問 認定こども園の良さはどのような点にあると考えているのか。

答 家庭の状況や就労の有無などに関わらず、子どもの成長過程に合わせて子育て支援事業や幼児教育、長時間預かり保育などを組み合わせることにより施設を変わることなく就学するまでの間、利用できるため、幼稚園と保育園の良さを併せ持つ質の高い教育・保育機能を発揮できる施設であると認識している。

※他の質問項目　認定こども園の整備

区内医療環境の向上

問 地域医療連携をさらに進めていくための区長の基本的な考え方を伺う。

答 在宅医療検討部会を設置し、退院時調整と在宅医療の仕組みづくりについて検討を行い、災害医療検討部会においては、緊急医療救護所の数及び場所の見直しを始めとする災害医療体制の検討を行った。区としては切れ目のない医療の提供をめざし多職種間の顔の見えるネットワーク作りとともに災害時の医療体制の強化により地域医療連携を推進していく。

※他の質問項目　区内医療環境の向上

区に取り組む区長の基本的姿勢と今後の方針

公立学校教育

公立学校教育の充実と京成本線連続立体化の実現を

問 児童・生徒が学習に取り組む基本的生活習慣を取得するため、きめ細かい対応が必要と考えるがどうか。

答 葛飾区教育振興基本計画を新たに策定し、葛飾スタンダードの中で授業規律について定め、区立全小中学校で実施していく。また、学校長の意見を聴き学校を支援していくとともに、学校が家庭や地域と協力して学習に取り組む基本的生活習慣の確立を図っていく。

※他の質問項目　土曜授業を行う公立学校講師への謝金や教材費の補助

京成本線の鉄道立体化事業と高砂駅周辺のまちづくり

問 鉄道立体化の早期実現に向けて東京都や京成電鉄との連携状況について伺う。

答 平成13年に東京都、葛飾区、江戸川区及び京成電鉄の４者により「開かずの踏切対策及びまちづくりに関する勉強会」を設置し踏切に対する安全性や利便性の向上に向けて取り組んでいた。今後も引き続き十分連携を図りながら、今、鉄道立体化の課題を解決し早期の事業化を目指していく。

高砂駅周辺連続立体交差事業

※他の質問項目　京成本線高砂駅立体化と駅周辺まちづくりのこれまでの取り組み　など

区の職員

問 東京都と緊密な連携を取り、区の重要課題を解決するため都と戦略的な職員の人事交流を行うべきと考えるがどうか。

答 本区でも東京都の様々な部署に職員を派遣し経験させ、本区の行政課題の解決に役立ててきた。また、東京都のOB職員を区職員として任用するなど人事交流を進めてきた。引き続きこの人事交流制度を有効活用し本区の重要課題解決や区政の進展に活かしていく。

2020年東京オリンピック

問 区民が選手とともに感動を共有するため各国選手のキャンプ誘致や選手との交流事業を検討すべきと考えるがどうか。

答 東京を訪れる諸外国選手との交流や世界レベルの技術に触れることによる地域活性化を含め、東京都などと連携して練習場招致など、オリンピックムーブメントを高めていく。当面は元オリンピック選手などを学校授業へ派遣する「学校連携事業」やトップアスリートを招く「ジュニアエンジョイスポーツ」、東京都と連携したアスリート活用事業「東京アスリート・サイクル地域貢献モデル事業」などを展開していく。

葛飾区議会公明党

子どもの健やかな成長と高齢者が元気に暮らせるまち

子育て支援と教育の充実

問 保育待機児童の早期解消、及びその実現に向けた保育士の確保について、区の見解を伺う。

答 保育所などを積極的に整備し、量的拡大を図るとともに、それを支える保育士などの確保を支援していく。

問 認証保育所の保育料助成を拡大してはどうか。

答 保育料の均衡を図る必要があることなどから、今後助成額を増やす方向で検討を行っている。

問 多子世帯への経済的負担を軽減する方策について伺う。

答 既に保育料などの軽減策を実施しているが、さらに拡大することを検討している。

問 区有地を活用した児童発達支援センターの整備が必要ではないか。

答 療育が必要な児童の増加に対応するため、同センターの整備費の一部助成にとどまらず、区有地も活用して積極的に推進していく。

問 「葛飾学力伸び伸びプラン」をさらに進めるためにどのようなことを考えているか。

答 学力向上につながった学校の優れた実践を全校に広げるなど他校の次年度プランに生かす。また、予算増額を検討し、学校長の経営計画に基づく学力向上の取り組みを支援する。

問 いじめ対策にも対応できるよう、「学校問題支援チーム」を強化充実すべきと思うが、見解を伺う。

答 総合教育センターとの連携強化を図り、いじめ対策に素早く組織的に対応できるように充実していく。

問 キャリア教育の充実について伺う。

答 中学校２年生を対象に官公庁や工場などの職場体験を実施している。地域や産業界と連携して充実を図る。

問 「子ども司書講座」の開設をしてはどうか。

答 子ども読書活動推進の方策として、学校図書館と公共図書館の積極的な連携の強化を図る中で検討していく。

※他の質問項目　雑誌スポンサー制度の導入

高齢者対策のさらなる充実

問 プラチナ・フィットネス事業の拡充について伺う。

答 アンケート結果からも効果が表れている。来年度は実施回数を増やすなど事業の拡充を図っていく。

プラチナ・フィットネス事業

問 75歳訪問の実施状況と今後の方向性について伺う。

答 今年度は単身または高齢者のみ世帯を中心に、75歳到達者の約半数の方を対象として訪問し、介護保険の認定申請や「かつしかあんしんネット」による見守りなどの福祉サービスに繋げた。来年度は、施設入所を除き、75歳到達者全員を訪問したい。

安全・安心、すこやかに暮らせるまちづくりの推進

問 都市計画道路の整備状況と今後の整備方針について伺う。

答 区全体の計画延長は91・8㎞、完成延長は61・4㎞、完成率は67%である。新たな整備方針の策定にあたっては、渋滞の解消や首都直下地震への備えなど、さまざまな課題に対応した道路整備の方向性を検討する。

問 道路陥没につながる空洞化対策について伺う。

答 啓開道路と主要なバス路線36・7㎞のうち、優先すべき8・6㎞を探査車で調査を行った。空洞化が疑われる箇所はカメラにより詳細調査し、早急な対応が必要な箇所は年度内に補修する。来年度は残る28㎞すべての調査をし、緊急度の高い箇所から補修を行っていく。

問 慈恵医大葛飾医療センターのがん放射線治療の再開と今後の展望について伺う。

答 11月21日に慈恵大学に再開を確認した。区議会をはじめ多くの皆様のご支持ご支援で実現できたもので、同医療センターには、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を国から受けることを期待している。今後も慈恵大学との信頼関係をもとにさらなる協議を続けていく。

※他の質問項目　胃がん検診　など

魅力と活力あふれるまちづくりの推進

問 葛飾のキャラクターを活かし、オリンピックを見据えた観光施策の推進について伺う。

答 東京駅や東京ソラマチの観光案内所では、映像やポスターによるPR、案内所職員による葛飾区への送客やパンフレットの配布などを行っている。外国人観光客が楽しめる多言語対応のパンフレットなどの媒体や観光案内板の整備が重要であり、観光施策を戦略的かつ計画的に推進する。

問 葛飾ゆかりの人物の紹介や親善大使の新設をしてはどうか。

答 広報かつしか新年号に、葛飾にゆかりのある方々が「葛飾の良さ」を語る企画を進めている。親善大使は効果的な手法なので、活用について考えていく。

※他の質問項目　花いっぱいのまちづくりの推進　など

区政を聞く　一般質問（要旨）　詳しい内容は、会議録（２月中旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所３階）、図書館などでご覧になれます。

日本共産党葛飾区議会議員団

四〇〇億円の区役所建替えよりも区民生活応援の区政を

区長の政治姿勢

問 10年以内に区役所を建替えるという計画は、白紙撤回すべきであると思うがどうか。

答 葛飾区総合庁舎整備のあり方検討委員会において議論がなされ、基本計画の重要プロジェクトの中でも「公共施設の効果的・効率的な活用」と並べて位置づけており、着実に推進していく。

※他の質問項目　投票率低下　など

区民生活を応援するための緊急提案

問 区内にある東京都所有の未利用地を、ただちに特別養護老人ホームや認可保育園に活用すべきと思うがどうか。

答 これまでも必要な土地は、区が直接購入し活用してきた。今後も国や都の未利用地の状況把握に努め、都が実施している事業者公募制度も利用しながら整備を行う。

高齢者夫婦

※他の質問項目　放射線対策　など

同和対策

問 部落解放同盟葛飾支部への補助金に対する住民監査請求の結果が出た。監査委員の付帯意見を重く受け止め、仮奥戸集会所のあり方や同和関連事業の見直しをすべきと思うがどうか。

答 監査結果は「仮奥戸集会所に関する財産管理及び支部に対する補助金については、違法又は不当には当たらない」というものである。監査結果を十分に踏まえ、差別のない地域社会を作るため、同和対策の取り組みを推進していく。

人間らしい雇用のルール確立をブラック企業から区民を守れ

若者の就労支援対策

問 ハローワークを併設した「若者サポートステーション事業」を実施すべきと思うがどうか。

答 現在、若者向けの就職支援セミナーや中小企業・若者マッチング事業を行っており、昨年８月には、区役所内に就職支援コーナーかつしかを開設した。現行の体制のもとで支援を行っていく考えであり、現時点で「若者サポートステーション事業」を実施する考えはない。

※他の質問項目　ブラック企業に関する常設窓口の設置　など

新小岩駅の人身事故防止策

問 緩行線にもホームドアを設置するよう交渉すべきと思うがどうか。

答 事故が快速線で多く起きているため、快速線への設置について協議している。緩行線はドアの位置が異なる車両が混在していることなどから、現在は検討の対象になっていない。

※他の質問項目　１日も早いホームドアの設置

政策葛飾

住み続けたいまちの実現に向け政策論議を重ね、区政の発展を目指す

今後の行財政運営

問 区長は子育て支援・高齢者対策の充実を表明しているが、具体的に今後の重要施策にどのように反映していくのか。

答 保育所定員の充実、多子世帯への経済的支援、幼児期から小中学校、高校までの子育て・教育環境の充実と、介護保険サービス基盤整備、認知症高齢者対策、介護予防の充実など各種高齢者施策の推進に力を注ぐ。

問 400を超える公共施設の維持・更新経費を抑制するため、「公共施設の効果的・効率的活用」を具体的にどう進めていくのか。

答 将来求められるニーズや区が提供すべきサービスを見極め、必要な機能やサービスの提供方法を検討するとともに、新たな組織を整備して施設の更新計画を示していきたい。

立石駅周辺の街づくり

問 立石駅周辺に空き地が広がる街の状況について、どのような認識を持っているのか。

答 再開発事業が早期に実施できるよう、再開発準備組合の活動を支援するとともに、連続立体交差事業の進展に向けて努力する。

立石駅周辺に広がる空き地

問 準備組合が設立されて以降の活動と、区の事業支援内容を示されたい。

答 準備組合は、街づくり相談室開設や先進地区見学会などに取り組み、区も事務所を開設し権利者が相談しやすい体制の確保や広報紙作成の補助金交付など積極的支援に努めてきた。

※他の質問項目　今後の見込み　など

葛飾北部地域の交通ネットワーク

問 幹線道路の整備にあたり、スピード感と地域との協働が重要であると考えるが、区の見解を示されたい。

答 区長が先頭に立ち、都に対して働きかけを行い、地域の方々の協力を得ながら早期の事業化を進めたい。

問 補助138号線の橋梁建設の検討状況と今後のスケジュールを示されたい。

答 本区、足立区、東京都で早期実現に向けた検討会を７回行った。今後国土交通省との協議に続き、都市計画変更手続きを進め事業に着手したい。

※他の質問項目　補助138・281号線の接続

危機管理対策

問 マンホールトイレを全学校避難所に整備する意義と今後の方針を伺う。

答 首都直下地震を想定した避難所生活の改善策と考える。今後、地域防災計画改定後に見直しを検討する。

問 放射能汚染の不安払拭のため子どもの健康診査を実施すべきではないか。

答 現時点では具体的な実施予定はないが、各保健センターで健康相談を実施している。

※他の質問項目　水害対策　など

民主党葛飾

区民との協働の推進と歴史・文化の継承によるふるさとかつしかの実現を

区民との協働

問 協働には、職員と区民が顔の見える対等な関係をつくることと、職員の意識改革が必要と考えるがいかがか。

答 職員が地域に赴き、区民や事業者の実情を知り、区民目線を持つことは大切であり、職員向け協働ガイドラインの作成や検討中の職員出前講座などを通じ、職員の意識改革や協働意識の醸成を図っていきたい。

※他の質問項目　庁内相談機能　など

医療環境の充実

問 新小岩地域への病院誘致の最優秀提案者が決まったが、現在の協議内容、進行状況について伺う。

答 定期的な協議の場を設け、病院の規模や医療機能、地域貢献策等について協議中である。今年度末までには、基本協定を締結する予定である。

※他の質問項目　病床の確保　など

ふるさとかつしかを次の世代に手渡していくための歴史・文化の保全と継承

問 地域の歴史や文化を次の世代に手渡すことが重要であり、区全体で総合的な取り組みが求められると思うがいかがか。

答 歴史・文化の記憶や資源を調査し、記録にとどめ、次世代に継承することは、地域への愛着や誇りを育むだけでなく、まちづくりや観光においても重要な資源になると考える。

旧帝釈道の道標

※他の質問項目　基本構想策定　など

困難を抱えた子ども・若者の支援

問 いじめ解決には、学校の枠を超えた支援が必要と考えるが、対応を伺う。

答 学校問題解決支援チームの強化を図り、学校と協力し未然防止に努める。いじめが発生した場合には、組織的に対応できるよう充実を図っていく。

※他の質問項目　ネットワークの構築

葛飾教育の日（月一回土曜日）の登下校の安全

問 葛飾教育の日の安全対策、スクールゾーン対応など区の取り組みを伺う。

答 通学路点検や交通安全誘導員の配置を行うとともに、地域の協力を得ながら児童の交通安全に努めていく。

無所属※１

区役所建替え前にやるべきことがある安心して暮らせる葛飾を

災害時の給水協力井戸

問 井戸の設置場所を示すパネルなどの掲示が必要ではないか。見解を伺う。

答 周知看板の設置などを進めている。

亀有駅南口の風害対策

問 リリオの再開発ビルができ、風害が発生している。具体的な対策を伺う。

答 平成27年度予定の南口広場改修工事に併せ、効果的な具体策を検討する。

金町駅から葛飾区役所行きの新路線バス

問 新路線バスについて見解を伺う。

答 京成タウンバスが区役所に乗入れる路線を検討中だと聞いている。バス事業者とともに検討していく。

新金貨物線の旅客化は、なぜ、鉄道事業者（旅客運行受託者）探しが先なのか

問 LRTプロジェクト推進協議会を設置してはどうか。見解を伺う。

答 課題が解決され見通しが立った段階で検討し判断すべきものと考える。

富山市内のLRTとバス

教育委員会だけでなく区全体で世代間の貧困の連鎖を断つ政策への取組み

問 生活困窮を起因とする学力不振の子どもたちのために手を差し伸べることが大切ではないか。見解を伺う。

答 家庭の経済状況にかかわらず、誰もが安心して教育を受けられる環境を整えていく。

他の質問件名　総合庁舎の建替え移転（京成立石駅北口再開発ビル）、放射線対策総合計画の策定など